

しば子先生の

ミニミニ 芝生教室

先生：刈高とグリーンスピードについては良くわかったわね・・・

生徒：はい、刈高を下げていっても同じようにはスピードは上がらず徐々に上がるスピードが落ちていくということでした・・・

先生：そうね・・・これを『報酬漸減の法則』というのね・・・

生徒：ハウシュウ・・・ムニャムニャ・・・???

先生：ハウシュウゼンゲンの法則と読むのよ・・・収穫漸減の法則とも言うわ・・・農業分野でよく使われる言葉で、肥料や資材を多く使って収穫をどんどん増やそうとしてもコストをかけた分だけずっと収穫が増えていくわけではなく、徐々に資材費を増やしても収穫が増えなくなっていくという法則を言っているのね・・・漸減というのは徐々に減っていくという意味ね・・・

生徒：なるほど・・・刈高を 1mm づつ下げて行ってもだんだんグリーンスピードの上がり方が縮まってくると言うことですね・・・

先生：そういうことね・・・ここで言いたいことは、ただスピードを求めてどんどん刈高を下げる事を考えるのではなく、刈高を下げる事によって芝生のストレスが上がり健全性を失うことになるので、求められるグリーンスピードと芝生が失う健全性のバランスを考えて適正な刈高を見つけることが大事だと言うことなのよ・・・

生徒：なるほど・・・すべて良いバランスが必要と言うことですね・・・施肥と健全な芝のバランスにも言えることですね・・・

先生：そうね・・・ただ早いグリーンを求めて刈高を下げてスピードキルで芝生が無くなってしまっは元も子もないわ・・・アメリカのあるゴルフ場で新しく着任したキーパーさんが、そこのグリーンの状態が今一つ良くないのでほんの少しだけ、メンバーにスピード

が落ちたと気づかれない範囲で刈高を上げる事によってグリーンの状態を回復させたと言う話があるわ・・・

生徒：なるほど、これこそ報酬漸減の法則に照らし合わせて一番いいバランスを取ったと言うことですね・・・

先生：そういうことね・・・他にも刈高を下れば良いわけでは無いという理由があるわ・・・一般的に言われている『刈高』とい

第 125 回 刈高 2

うのはグリーンモアアのローラーと下刃の間隔を刈高と呼んでいるのね・・・

生徒：そうですね・・・刈高と言えば芝刈機の設定している刈高のことを言うと思います・・・

先生：そう・・・でもそれは機械の設定の刈高ではあるけど『刈られた芝生の葉の実際の高さ(長さ)』では無いわね・・・

生徒：刈る時に寝てしまったりした葉がその後に起き上がったら刈高の結果が違ってしまったり、芝生の状態で変わったり、機械の重量での沈み方とか・・・

先生：そういうことね・・・だからメンバーさんが、隣のコースが 3mm で刈ってるからうちも 3mm で刈れば同じように早くなると言っても実際は違うことになる可能性があるわ・・・

生徒：なるほど・・・刈高がすべてでは無いんですね・・・

先生：それに芝刈機の種類によっても違いが出ることがわかっているわ・・・乗用三連と手押しのモアアでは乗用三連の方が同じ刈高でも遅くなることがわかってるわ・・・

生徒：そうなんですわ・・・知りませんでした・・・

先生：またドラム式とフローティング式とではドラム式の方が少し早くなるようね・・・もちろん機械の違いは大きな違いでは無いけどさっきの報酬漸減の法則を考えれば少しでも高い刈高で速いグリーンスピードを出せれば理想的ね・・・

生徒：なるほど・・・

先生：また、ダブルカットも一つの選択ね・・・

生徒：ダブルカットは一日に二回刈ると言うことですよね・・・

先生：その通り・・・通常一回目の刈る方向に対して二回目は 90 度の方向で刈るの・・・一回目で刈れなかった芝を二回目に刈るのでより均一に芝の刈高がそろえられてグリーンスピードが上がるわ・・・

生徒：なるほど・・・でも手間がかかりますよね・・・

先生：そうね・・・芝へのストレスも上がるから一年中はやれないかもしれないけど・・・競技がある期間だけに行うのはいいかもしれないわ・・・ただダブルカットしてもすぐにはスピードが上がらないので遅くとも数日前から行う必要があるわ・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

